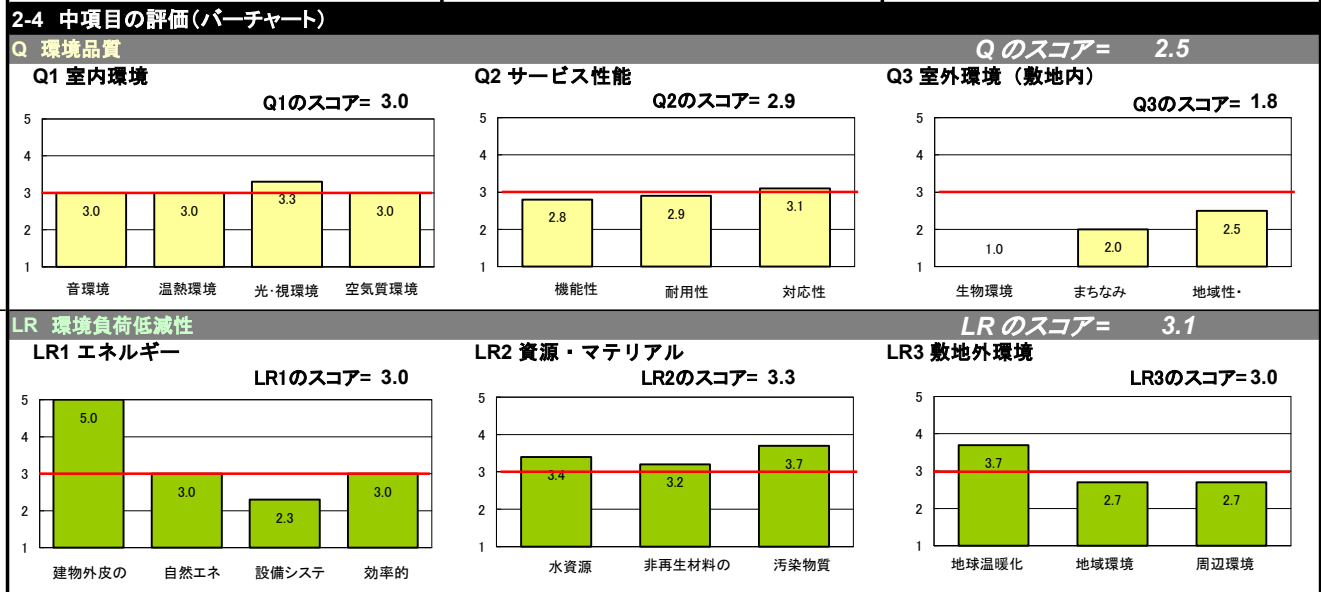
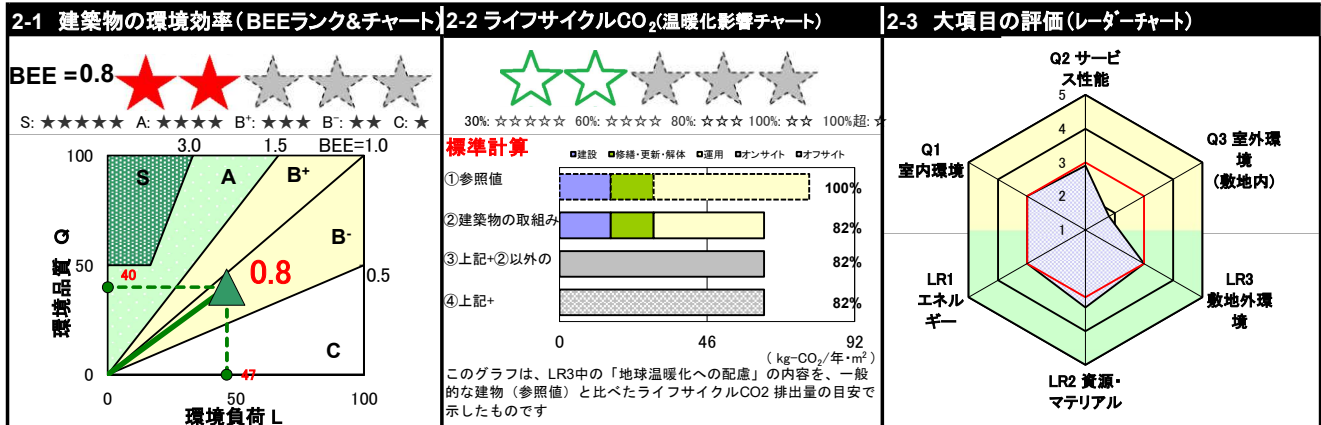




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	綱島東6丁目プロジェクト新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市港北区綱島東6-1717番・1718番1	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年9月1日
敷地面積	1,077 m ²	作成者	ヒューリックビルド株式会社木村有一郎
建築面積	695 m ²	確認日	2025年9月1日
延床面積	2,076 m ²	確認者	ヒューリックビルド株式会社木村有一郎



3 設計上の配慮事項		
総合	総合	その他
BPI _m =0.68とし建物の熱損失性能の向上に努めた		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
昼光率:3.9%	給排水管の更新必要間隔について耐用年数の長い材料を使用	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI _m =0.68	ODPとDWPの低い発泡剤を使用	LCCO ₂ 排出率:82%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要		<非住宅>		受付日 2025年9月8日													
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				建物名称	綱島東6丁目プロジェクト新築工事												
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving		重点項目への取組(5点満点)		【省エネルギー性能】	2												
■省エネルギー性能																	
この建物の設計一次エネルギー消費量 29 %削減																	
		<table><thead><tr><th colspan="2">再エネなし</th><th colspan="2">再エネあり</th></tr></thead><tbody><tr><td>削減率</td><td>29%</td><td>削減率</td><td>29%</td></tr><tr><td>BEI値</td><td>0.71</td><td>BEI値</td><td>0.71</td></tr></tbody></table>				再エネなし		再エネあり		削減率	29%	削減率	29%	BEI値	0.71	BEI値	0.71
再エネなし		再エネあり															
削減率	29%	削減率	29%														
BEI値	0.71	BEI値	0.71														
■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)																	
BPI _m =0.68																	
健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community		重点項目への取組(5点満点)		【快適・働きやすさ】	3												
■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)																	
昼光率2.5%≤3.8%																	
■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)																	
■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)																	
防災への配慮 (R) Resilience		重点項目への取組(5点満点)		【防 災】	3												
■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)																	
雑排水污水管:VP・給水管:VLP																	
地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape		重点項目への取組(5点満点)		【地域・まちづくり】	2												
■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)																	
太陽光発電などの導入		環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)															
_____		_____															
エネルギーマネジメントシステム導入		_____															
_____		_____															



CASBEE横浜2025年版v1.0

綱島東6丁目プロジェクト新築工事

バージョン CASBEE横浜2025年版v1.0

スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質				-	-	-	-	2.5
Q1 室内環境				-	0.34	-	-	3.0
1 音環境				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	-
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-
1 室温	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用				4.2	0.30	-	-	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	5.0	0.60	-	-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	-	-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-	-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9
1 機能性				2.8	0.40	-	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.33	1.0	-	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり				3.4	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり				3.0	0.60	-	-	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-

3.3 設備の更新性				3.0	0.40				
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20				
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20				
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.36			1.8	
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑮生物環境の保全と創出	1.0	0.30			1.0	
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑰まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40			2.0	
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑳地域性への配慮	2.0	0.50				
	3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	㉑敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-			3.1	
LR1 エネルギー				-	0.40			3.0	
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20			5.0	
2	自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10			3.0	
3	設備システムの高効率化			2.3	0.50			2.3	
	集合住宅以外の評価	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.3	1.00				
	集合住宅の評価	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	-	-				
4	効率的運用			3.0	0.20			3.0	
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50				
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50				
	集合住宅の評価			-	-				
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-				
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-				
LR2 資源・マテリアル				-	0.30			3.3	
1	水資源保護			3.4	0.20			3.4	
	1.1 節水			4.0	0.40				
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2	非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60			3.2	
	2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10				
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20				
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20				
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20				
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10				
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20				
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20			3.7	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30				
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70				
	1	消火剤		-	-				
	2	発泡剤(断熱材等)		5.0	0.50				
	3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境				-	0.30			3.0	
1	地球温暖化への配慮			3.7	0.33			3.7	
2	地域環境への配慮			2.7	0.33			2.7	
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25				
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
	3	交通負荷抑制		1.0	0.25				
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25				
3	周辺環境への配慮			2.7	0.33			2.7	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
	1	騒音		3.0	0.33				
	2	振動		3.0	0.33				
	3	悪臭		3.0	0.33				
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40				
	1	風害の抑制		3.0	0.70				
	2	砂塵の抑制		1.0	-				
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30				
	3.3 光害の抑制			1.6	0.20				
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70				
	2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				
上記以外の重点項目									
<事務所用途>									
	知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-				
<住宅用途>									
健康と安心									
	1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	-				
	2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	-				
	3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	-				
	4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	-				